



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL https://www.shiphd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大橋 太
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	718,163	5.9	24,482	△1.2	26,331	1.2	13,394	△11.5
2025年3月期	678,229	7.5	24,779	1.0	26,023	3.2	15,128	9.6

(注) 包括利益 2026年3月期 12,859百万円(△8.1%) 2025年3月期 13,988百万円(△9.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	144.19	—	8.9	6.9	3.4
2025年3月期	160.34	—	10.5	6.8	3.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 613百万円 2025年3月期 1,091百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	385,109	152,428	39.2	1,641.74
2025年3月期	381,702	150,280	39.1	1,580.05

(参考) 自己資本 2026年3月期 151,070百万円 2025年3月期 149,077百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	22,078	△2,075	△16,334	78,604
2025年3月期	20,384	△4,025	△24,622	74,857

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	58.00	58.00	5,472	36.2	3.8
2026年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	5,521	41.6	3.7
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	65.00	65.00		37.4	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	345,000	3.5	8,500	3.3	8,500	△3.1	5,500	0.5	59.77
通期	740,000	3.0	26,000	6.2	26,500	0.6	16,000	19.5	173.88

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 5社(社名) (注)、除外 11社(社名) (注)

(注) 詳細は、添付資料19ページ「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	94,350,134株	2025年3月期	101,669,400株
2026年3月期	2,331,200株	2025年3月期	7,319,266株
2026年3月期	92,896,426株	2025年3月期	94,350,162株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,261	5.7	6,512	6.8	6,194	4.3	5,442	△5.0
2025年3月期	7,815	△12.3	6,097	△15.6	5,938	△17.5	5,729	△16.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	58.58		—					
2025年3月期	60.73		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	112,781	52,205	46.3	567.34
2025年3月期	115,277	57,321	49.7	607.54

(参考) 自己資本 2026年3月期 52,205百万円 2025年3月期 57,321百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2027年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、2026年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】5ページ「今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は持株会社であり、当社個別の収入は子会社からの受取配当及び運営費用収入等がほとんどであることから、投資情報並びに経営指標としての重要性が低いと考えられるため、個別業績予想の記載を省略しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や内需を中心とした緩やかな回復がみられた一方で、物価上昇やエネルギー価格の高止まり、各国の通商政策等の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの属する医療業界では、物価・人件費の上昇や人手不足を背景に医療機関の経営環境は引き続き厳しく、医療DXの推進や業務効率化、持続可能な医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「SHIP VISION 2030」の初年度として、「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」を基本方針に掲げ、新規事業創出、再編統合、成長領域の拡大に取り組んでまいりました。具体的には、シニア向け分譲マンション事業の第2号・第3号案件の準備、海外ODA事業への参入、医療情報系ソリューションビジネスの拡大を進めるとともに、キングラングループならびに調剤薬局事業及び給食事業を中心としたグループ内再編・統合を推進しました。また、首都圏医療材料物流拠点の開設、複数病院との一括契約によるSPD案件の開始等により、成長領域の拡大を図りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は718,163百万円（前連結会計年度比5.9%増）、営業利益は24,482百万円（前連結会計年度比1.2%減）、経常利益は26,331百万円（前連結会計年度比1.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は13,394百万円（前連結会計年度比11.5%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、2025年5月にグループ入りしたODA専門商社の業績が寄与したことに加え、医療情報系ソリューションビジネスが堅調に推移しました。一方で、前期には大型案件であるシニア向け分譲マンションの竣工・販売がありました当時は竣工案件がなかったこと、リニューアル案件において特に省エネ関連工事の部材の納期遅延等により利益率確保が低調に推移したこと、メーカー系では部品の価格高騰と一部生産遅延が生じたこと等に加え、M&A手数料等の一過性費用を計上したこと等から、利益面では前年を下回りました。

以上の結果、売上高は136,604百万円（前連結会計年度比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は10,812百万円（前連結会計年度比10.0%減）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、新規SPD受託施設が上期より稼働を開始したことに加え、経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタートし、売上の拡大に寄与しました。加えて、2024年10月1日付の5社統合による経営効率化の進展や、新たな首都圏の医療材料物流拠点の稼働も事業基盤の強化につながりました。一方で、一部では病院経営の厳しさを背景に備品購入の先送りの影響も見られました。

以上の結果、売上高は509,569百万円（前連結会計年度比7.3%増）、セグメント利益（営業利益）は7,484百万円（前連結会計年度比7.4%増）となりました。

③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、食事提供サービスでは契約施設数の伸長や、不採算施設の厨房業務撤退・運営転換を進めました。一方で、介護サービスでは水道光熱費・労務費上昇の影響を受けました。

以上の結果、売上高は37,322百万円（前連結会計年度比1.8%増）、セグメント利益（営業利益）は2,216百万円（前連結会計年度比1.2%増）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模なM&Aや再編統合による経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は34,666百万円（前連結会計年度比3.6%増）、セグメント利益（営業利益）は4,004百万円（前連結会計年度比16.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、270,599百万円（前連結会計年度末残高は259,457百万円）となり、前連結会計年度末に比べ11,141百万円増加いたしました。

その主な要因は、「売掛金」が4,605百万円、「現金及び預金」が3,063百万円、「電子記録債権」が2,284百万円増加したこと等によるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、114,510百万円（前連結会計年度末残高は122,245百万円）となり、前連結会計年度末に比べ7,734百万円減少いたしました。

その主な要因は、「機械装置及び運搬具」が1,039百万円増加した一方、「貸倒引当金」が2,572百万円増加し、「投資有価証券」が1,691百万円、「賃貸不動産」が1,571百万円減少したこと等によるものであります。

③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、195,914百万円（前連結会計年度末残高は188,013百万円）となり、前連結会計年度末に比べ7,900百万円増加いたしました。

その主な要因は、「1年内返済予定の長期借入金」が2,593百万円減少した一方、「支払手形及び買掛金」が6,272百万円、「電子記録債務」が1,230百万円増加したこと等によるものであります。

④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、36,767百万円（前連結会計年度末残高は43,408百万円）となり、前連結会計年度末に比べ6,640百万円減少いたしました。

その主な要因は、「長期借入金」が5,013百万円、「繰延税金負債」が1,026百万円減少したこと等によるものであります。

⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産は、152,428百万円（前連結会計年度末残高は150,280百万円）となり、前連結会計年度末に比べ2,147百万円増加いたしました。

その主な要因は、配当金の支払により「利益剰余金」が5,472百万円、「その他有価証券評価差額金」が714百万円減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益により「利益剰余金」が13,394百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末残高の74,857百万円から3,746百万円増加し、78,604百万円となっております。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは22,078百万円の収入（前連結会計年度比1,693百万円収入増）となりました。これは主に、「法人税等の支払額」を9,468百万円計上し、「売上債権」が6,031百万円増加した一方、「税金等調整前当期純利益」を23,106百万円計上、「仕入債務」が7,132百万円増加したこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは2,075百万円の支出（前連結会計年度比1,950百万円支出減）となりました。これは主に、「定期預金の払戻による収入」が1,419百万円、「長期貸付金の回収による収入」が1,130百万円あった一方、「有形固定資産の取得による支出」が4,281百万円あったこと等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは16,334百万円の支出（前連結会計年度比8,288百万円支出減）となりました。これは主に、「長期借入れによる収入」が776百万円あった一方、「長期借入金の返済による支出」が6,136百万円、「配当金の支払額」が5,472百万円、「自己株式の取得による支出」が4,999百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	35.3	33.5	36.0	39.1	39.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.0	60.2	51.2	49.5	57.3
債務償還年数 (年)	5.1	5.4	1.9	1.9	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	43.7	33.1	70.8	40.7	48.1

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息の支払額

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利息の支払額については連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

団塊の世代の高齢化及び少子化が急速に進んでいることから、将来にわたり国の医療費・介護費の抑制・単価の引き下げが継続されることが予測されます。それを受けた医療政策関連施策として、医師の働き方改革や2040年頃に向けた医療提供体制の総合的な改革等の検討が続いております。

このような状況の下、当社グループは、SHIP理念及び“生命を守る人の環境づくり”というグループミッションの下、「医療」「保健」「福祉」「介護」「サービス」の分野において、最適なソリューションを一括で提供することに加えて、「自然を守る」ことによってWell-Beingな社会の創出を目指してまいります。

当社グループは、2026年3月期～2030年3月期の5年間の計画期間とする中期経営計画「SHIP VISION 2030」を策定しております。

「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」を基本方針とし、売上高年平均成長率（CAGR）は5年間で5%、営業利益率は2030年3月期に4%、ROEは2030年3月期に12%をそれぞれ目指してまいります。

次期(2027年3月期)の業績見通しにつきましては、下記のとおり業績を見込んでおります。

<連結の業績見通し>

(単位：百万円、%)

	2027年3月期（予想）			2026年3月期（実績）	
		利益率	前年比		利益率
売上高	740,000	—	3.0	718,163	—
営業利益	26,000	3.5	6.2	24,482	3.4
経常利益	26,500	3.6	0.6	26,331	3.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,000	2.2	19.5	13,394	1.9

2027年3月期の1株当たりの配当予定額（期末）は、65円であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,502	80,566
受取手形	1,065	391
売掛金	132,758	137,363
電子記録債権	6,236	8,521
リース投資資産	2,508	0
商品及び製品	23,575	24,544
仕掛品	3,363	4,336
原材料及び貯蔵品	1,920	1,577
短期貸付金	1,694	1,608
その他	8,863	11,713
貸倒引当金	△31	△23
流動資産合計	259,457	270,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,130	44,602
減価償却累計額	△22,600	△23,760
建物及び構築物(純額)	21,529	20,841
機械装置及び運搬具	9,299	10,738
減価償却累計額	△5,896	△6,296
機械装置及び運搬具(純額)	3,402	4,442
土地	18,162	17,951
賃貸不動産	12,498	11,166
減価償却累計額	△4,417	△4,657
賃貸不動産(純額)	8,080	6,509
建設仮勘定	976	51
その他	22,604	23,521
減価償却累計額	△15,796	△16,654
その他(純額)	6,808	6,867
有形固定資産合計	58,960	56,663
無形固定資産		
のれん	7,414	6,706
その他	5,316	5,013
無形固定資産合計	12,731	11,720
投資その他の資産		
投資有価証券	29,381	27,690
長期貸付金	10,351	10,754
退職給付に係る資産	1,070	1,095
繰延税金資産	4,140	3,459
破産更生債権等	57	59
差入保証金	5,394	5,523
その他	3,393	3,350
貸倒引当金	△3,236	△5,808
投資その他の資産合計	50,553	46,125
固定資産合計	122,245	114,510
資産合計	381,702	385,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,667	127,939
電子記録債務	35,470	36,700
短期借入金	698	1,333
1年内返済予定の長期借入金	6,022	3,429
未払法人税等	5,932	6,046
賞与引当金	3,135	3,324
その他	15,086	17,140
流動負債合計	188,013	195,914
固定負債		
長期借入金	30,620	25,606
退職給付に係る負債	3,531	3,427
繰延税金負債	3,111	2,084
資産除去債務	1,190	1,208
その他	4,953	4,439
固定負債合計	43,408	36,767
負債合計	231,421	232,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,575	19,417
利益剰余金	120,407	116,758
自己株式	△15,527	△5,049
株主資本合計	144,008	146,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,182	4,468
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△215	△185
退職給付に係る調整累計額	99	105
その他の包括利益累計額合計	5,068	4,391
非支配株主持分	1,203	1,357
純資産合計	150,280	152,428
負債純資産合計	381,702	385,109

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	678,229	718,163
売上原価	611,486	651,459
売上総利益	66,743	66,703
販売費及び一般管理費		
役員報酬	1,801	1,736
給料及び手当	13,854	14,431
賞与	1,576	1,720
退職給付費用	550	502
賞与引当金繰入額	1,480	1,419
その他	22,701	22,410
販売費及び一般管理費合計	41,964	42,221
営業利益	24,779	24,482
営業外収益		
受取利息	319	315
受取配当金	271	293
持分法による投資利益	1,091	613
貸倒引当金戻入額	12	-
為替差益	-	514
リース解約益	-	336
その他	435	551
営業外収益合計	2,131	2,625
営業外費用		
支払利息	499	426
為替差損	244	-
貸倒引当金繰入額	0	146
支払手数料	32	18
その他	111	185
営業外費用合計	887	775
経常利益	26,023	26,331
特別利益		
固定資産売却益	9	16
補助金収入	353	-
投資有価証券売却益	79	49
関係会社株式売却益	-	36
貸倒引当金戻入額	1,600	-
その他	37	5
特別利益合計	2,079	107
特別損失		
固定資産売却損	8	6
固定資産除却損	63	158
投資有価証券評価損	109	738
減損損失	409	-
貸倒引当金繰入額	3,070	2,415
その他	114	14
特別損失合計	3,775	3,332
税金等調整前当期純利益	24,328	23,106
法人税、住民税及び事業税	9,780	9,383
法人税等調整額	△427	213
法人税等合計	9,353	9,597
当期純利益	14,974	13,509
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△153	115
親会社株主に帰属する当期純利益	15,128	13,394

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	14,974	13,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△684	△748
為替換算調整勘定	△309	66
退職給付に係る調整額	△0	15
持分法適用会社に対する持分相当額	8	15
その他の包括利益合計	△986	△650
包括利益	13,988	12,859
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,277	12,716
非支配株主に係る包括利益	△289	142

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,553	23,585	109,996	△15,526	133,607
当期変動額					
剰余金の配当			△4,717		△4,717
親会社株主に帰属する 当期純利益			15,128		15,128
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の消却					-
利益剰余金から 資本剰余金への振替					-
連結子会社株式の 取得による持分の増減		△9			△9
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△9	10,410	△0	10,400
当期末残高	15,553	23,575	120,407	△15,527	144,008

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,863	2	△42	95	5,919	2,699	142,226
当期変動額							
剰余金の配当							△4,717
親会社株主に帰属する 当期純利益							15,128
自己株式の取得							△0
自己株式の消却							-
利益剰余金から 資本剰余金への振替							-
連結子会社株式の 取得による持分の増減							△9
連結範囲の変動							-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△681	0	△173	4	△850	△1,496	△2,346
当期変動額合計	△681	0	△173	4	△850	△1,496	8,054
当期末残高	5,182	2	△215	99	5,068	1,203	150,280

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,553	23,575	120,407	△15,527	144,008
当期変動額					
剰余金の配当			△5,472		△5,472
親会社株主に帰属する 当期純利益			13,394		13,394
自己株式の取得				△4,999	△4,999
自己株式の消却		△15,477		15,477	-
利益剰余金から 資本剰余金への振替		11,571	△11,571		-
連結子会社株式の 取得による持分の増減		△250			△250
連結範囲の変動		△1			△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△4,158	△3,648	10,478	2,670
当期末残高	15,553	19,417	116,758	△5,049	146,679

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,182	2	△215	99	5,068	1,203	150,280
当期変動額							
剰余金の配当							△5,472
親会社株主に帰属する 当期純利益							13,394
自己株式の取得							△4,999
自己株式の消却							-
利益剰余金から 資本剰余金への振替							-
連結子会社株式の 取得による持分の増減							△250
連結範囲の変動							△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△714	△0	30	5	△677	153	△523
当期変動額合計	△714	△0	30	5	△677	153	2,147
当期末残高	4,468	2	△185	105	4,391	1,357	152,428

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	24,328	23,106
減価償却費	5,543	5,476
減損損失	409	-
のれん償却額	1,826	1,765
持分法による投資損益 (△は益)	△1,091	△613
賞与引当金の増減額 (△は減少)	143	191
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,448	2,564
リース投資資産の増減額 (△は増加)	160	34
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	111	△69
有形固定資産除却損	55	158
関係会社株式売却損益 (△は益)	0	△21
受取利息及び受取配当金	△591	△612
支払利息	499	426
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,026	△6,031
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,081	343
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,016	7,132
その他	△3,047	△2,971
小計	26,703	30,878
利息及び配当金の受取額	876	1,126
利息の支払額	△501	△458
法人税等の支払額	△6,694	△9,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,384	22,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,102	△735
定期預金の払戻による収入	401	1,419
有形固定資産の取得による支出	△3,821	△4,281
有形固定資産の売却による収入	237	89
無形固定資産の取得による支出	△361	△434
短期貸付けによる支出	△102	△13
短期貸付金の回収による収入	125	100
長期貸付けによる支出	△2	△432
長期貸付金の回収による収入	306	1,130
投資有価証券の取得による支出	△348	△292
投資有価証券の売却及び償還による収入	254	230
営業譲受による支出	-	△190
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△120	△245
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入	-	638
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による収入	462	977
その他	44	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,025	△2,075
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10	11
長期借入れによる収入	593	776
長期借入金の返済による支出	△19,495	△6,136
自己株式の取得による支出	△0	△4,999
配当金の支払額	△4,717	△5,472
非支配株主への配当金の支払額	△286	△3
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△454	△250
リース債務の返済による支出	△252	△273
その他	0	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,622	△16,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,270	3,742
現金及び現金同等物の期首残高	83,128	74,857
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4
現金及び現金同等物の期末残高	74,857	78,604

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、サービス別の事業部及び子会社ごとの事業内容に応じて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業別のセグメントから構成されており、「トータルパックプロデュース事業」、「メディカルサプライ事業」、「ライフケア事業」及び「調剤薬局事業」の4つを報告セグメントとしております。

「トータルパックプロデュース事業」は、医療機器及び医療設備等の一括受注販売及びメンテナンス、医療・保健・福祉・介護施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等を行っております。「メディカルサプライ事業」は、医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等を行っております。「ライフケア事業」は、老人ホーム・グループホーム等の運営、食事提供サービス業務等を行っております。「調剤薬局事業」は、調剤薬局の運営等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	トータル パックプロ デュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	133,167	474,919	36,674	33,468	678,229	—	678,229
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4,264	2,721	82	122	7,191	△7,191	—
計	137,431	477,641	36,757	33,590	685,421	△7,191	678,229
セグメント利益	12,017	6,970	2,189	3,426	24,603	175	24,779
セグメント資産	131,227	179,510	40,288	36,007	387,033	△5,330	381,702
その他の項目							
減価償却費	3,252	1,011	846	377	5,488	55	5,543
のれんの償却額	726	441	481	176	1,826	—	1,826
減損損失	409	—	—	—	409	—	409
持分法適用会社 への投資額	536	—	10,858	—	11,394	—	11,394
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	1,996	1,502	394	474	4,368	81	4,449

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額175百万円には、セグメント間取引消去△127百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等298百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△5,330百万円には、セグメント間取引消去△48,301百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産42,959百万円等が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額81百万円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	トータル パックプロ デュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	136,604	509,569	37,322	34,666	718,163	—	718,163
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,017	2,147	84	139	4,388	△4,388	—
計	138,621	511,716	37,406	34,806	722,551	△4,388	718,163
セグメント利益	10,812	7,484	2,216	4,004	24,517	△35	24,482
セグメント資産	130,495	187,860	40,590	39,229	398,175	△13,065	385,109
その他の項目							
減価償却費	3,239	1,000	858	312	5,410	66	5,476
のれんの償却額	780	318	481	184	1,765	—	1,765
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社 への投資額	579	—	10,983	—	11,562	—	11,562
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	2,423	1,800	546	309	5,080	84	5,164

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△35百万円には、セグメント間取引消去△116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等76百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。
- (2) セグメント資産の調整額△13,065百万円には、セグメント間取引消去△53,624百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産40,542百万円等が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額84百万円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る設備投資額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					全社・消去	合計
	トータル パックプロ デュース 事業	メデイカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
(のれん) 当期末残高	4,317	991	1,220	883	7,414	—	7,414

（注）のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					全社・消去	合計
	トータル パックプロ デュース 事業	メデイカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
(のれん) 当期末残高	4,232	673	739	1,062	6,706	—	6,706

（注）のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,580円05銭	1,641円74銭
1株当たり当期純利益	160円34銭	144円19銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	15,128	13,394
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	15,128	13,394
普通株式の期中平均株式数(株)	94,350,162	92,896,426

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	150,280	152,428
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,203	1,357
(うち非支配株主持分(百万円))	(1,203)	(1,357)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	149,077	151,070
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	94,350,134	92,018,934

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

(株)テックインターナショナル、デルフィア(株)及び(株)橋本薬局につきましては新たに株式を取得したことから、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

マスターズフォレスト(株)及び昭島国際法務マネジメント(株)につきましては新たに設立したことから、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

シップヘルスケアエステート東日本(株)及びインジニアス(株)につきましては、全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

キングラン(株)は、キングラン・メディケア(株)、キングラン九州(株)、キングラン北海道(株)及びキングラン関西(株)を、シップヘルスケアファーマシー(株) (シップヘルスケアファーマシー東日本(株)より商号変更)は、日星調剤(株)、グリーンファーマシー(株)、(有)スターシップ、(株)MONAKA及び(株)オーエムピー (前連結会計年度では非連結子会社)を、シップヘルスケアフード(株)はグラン・グルメ(株)をそれぞれ吸収合併しております。なお、これらはいずれも連結子会社間の組織再編であります。